

2022年度 ユネスコスクール活動報告

(学)市川学園 市川中学校・高等学校

本校 ESD テーマである 1. 国際理解教育 2. 理科教育 3. 環境教育を中心に 1 年間の活動を報告する。

1. 国際理解教育

(1) 海外研修(英語による教養研修) 今年度は大半が中止。

- ① 夏 140 名参加予定 内訳 イートン(20 名)／ボストン&ダートマス(20 名)／ケンブリッジ&オックスフォード(60 名)／カナダ(40 名)→上記の内、イートン研修のみ実施(参加者 26 名)
春 ニュージーランド(35 名) →中止。
- ② 中 3 シンガポール修学旅行中止。

(2) 国内研修

- ① エンパワーメントプログラム(UC, Harvard 等の学生のリモートによる研修と国内在住の留学生による英語教養研修)、8/1~8/5 45 名参加
- ② 中 3 リソルの森探究研修(「自分」探究を目的にした英語研修) 8/8~8/10 30 名参加
- ③ 神田外語大学グローバルイシュー探求講座(神田外語大学との連携事業、SDGs について英語で学び、英語で発表する、5 月~7 月に神田外語大学にて計 4 回及び 8/22~8/24 にブリティッシュヒルズで研修) 60 名参加
- ④ Double Helix: Translational Medicine(英国から講師を招いて、英語で「医療」について学ぶ)、7/24~7/28 5 名参加

(3) トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム(文部科学省) 募集中止

(4) 個人参加の国際研修 World Scholar's Cup に参加(1 東京大会[本校]:29 名 2 世界大会[タイ・バンコク]:26 名 3 決勝大会[Yale 大学]:5 名)

(5) 文部科学省 WWL(ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業

① 宇治立命館高校 WWL 研究報告会参加(1/21、1/22)

② 宇治立命館高校 FOCUS2022 参加 東京会場は全ての運営を本校生徒が実施

プロジェクトは環境問題「真間川ビューティフルリバープロジェクト」「マイクロプラスチックの問題」及びジェンダー平等「性の社会進出へ!!~パパでも育休が取れる時代~」について発表

(6) 国際交流 今年度は実施できず。

(7) 校内活動・校外活動

生徒有志によるユネスコサークル活動は昨年度に続き今年度もコロナ禍で特記すべき活動は行われなかった。千葉県高等学校教育研究会 ESD 部会主催の研修会に生徒が参加。2023 年 2 月に千葉大学行われる国際研究発表に参加予定。

(8) 校内発表会(市川アカデミックデディ) 国際理解活動や SDGs に関わるの全学発表会を実施
3/12

(9) その他, 毎年実施している活動

① 留学キャラバン(海外大学進学説明会)を本校で対面形式で実施 6/18 本校生徒 14 名、他校生徒 13 名が参加

② JICA 講演会(中学道徳授業で, JICA 海外協力隊員による講演会)

(10) ホストファミリー・ネットワーク 留学生受け入れ準備家庭 登録数:78 家庭

(11) ボリビア全権大使講演会（本校卒業生の伯耆田修氏による講演会）19名参加

2. 理科教育 SSH 指定第3期・4年目の本年度は以下の活動をおこなった

(1) 研究開発の課題

自分で自分を教育できる自立した研究者を育成するプログラムの開発。

(2) 研究開発の概要

- ① 通常授業の改善のために学校設定科目に指定した、探究数学Ⅰ～Ⅲ・AB、探究物理ⅠⅡ，探究化学ⅠⅡ，探究生物ⅠⅡ、プレゼンテーション英語ⅠⅡ、構造読解（現代文）ⅠⅡ、地理ALについて研究を行った。また、すべての教科を対象に教科横断型授業の開発を行った。
- ② 理科では実験から学ぶ探究的な授業を行った。
- ③ 中学においては、前認知を高めるためのCASEプログラムの部分導入を行った。
- ④ 課題研究において評価基準を作成し、提示することで生徒のメタ認知を促し、自立的に取り組むことができるよう指導した。

(3) 海外連携

- ① 香港 GT カレッジ、東京工業大学附属科学技術高等学校、本校の3校で共同課題研究に取り組んだ。研究の成果は、オンラインの国際発表会 ICRF（International Collaborative Research Fair）で発表した。
 - ② タイのチェンライで行われた TJ-SIF2022（Thailand- Japan Student ICT Fair 2022）にオンラインで参加した。
 - ③ SSH タイ王国プリンセス・チュラボン・チョンブリ校への生徒派遣。
 - ④ SSH タイ王国プリンセス・チュラボン・チョンブリ校への生徒受入。
 - ⑤ SSH ドイツ Neues Gymnasium Wilhelmshaven への生徒派遣。
- ③～⑤は新型コロナウイルス感染防止のため、本年度は中止。

3. 環境教育

(1) 三宅島研修巡検 三宅島での研修 7/19日～7/22 13名参加

中学・生物授業での近隣自然観察公園フィールドワークは行われなかった。

(2) 保護者が制服・学用品などのリサイクル活動を推進。リサイクルフェスタ 5/14のリユースを促進した。